

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		020302022000		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	救急医療情報キット配付事業	予算事業名	優先度	3	
まちづくり目標		みんなが安心して暮らせる絆のあるまち		担当部局名	健康福祉部健康介護課		
施策名(中)		高齢者が安心して暮らせるよう支援する		担当課長	友上 啓子	担当者名	中嶋 恵子
取組み事項		介護予防などを推進する		実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相州市救急医療情報キット配付事業実施要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	健康上不安を有する者					
	誰(何)を対象として	次のいずれかに該当する者①一人暮らし高齢者②高齢者のみの世帯に属する者③重度障害者のみの世帯に属する者④高齢者と重度障害者のみの世帯に属する者⑤生命に危険な病状を有する者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	救急搬送時に役立つ情報(既往症・服用している薬剤情報・血液型・かかりつけ医・親族等の連絡先)を入れたキットを保管し、もしものときの安全・安心を図る。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		キットに救急医療情報を入れ自宅冷蔵庫で保管してもらうとともに、キットの存在を示すステッカーを貼り、救急時に救急隊員の手を介して情報を搬送先病院に伝えることで、速やかな救急処置を図る。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	配付件数	件	99	96	98	110

3 投入資源

会計区分		事業費単位:円							
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.040	143	0.040	100	0.040	100	
	臨時職員	0.012	0.000	0	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
	事業費	0	0	-	0	-	0	-	
	合計	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103	
合計	564,608	615,896	109	624,810	101	645,429	103		

※ 事業の進捗状況

項目		23年度	24年度	25年度	26年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		配付件数							
指標説明(式)		配付件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	200	150	75.0	100	66.7	110	110.0	
	実績	99	96	97.0	98	102.1			
指標名2		救急搬送時のキットの活用回数							
指標説明(式)		救急搬送時のキットの活用回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	—	4	—	4	100.0	10	250.0	
	実績	4	2	50.0	6	300.0			

【効率性】

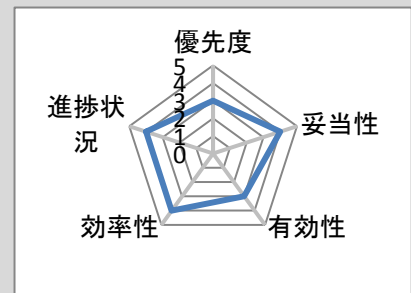
指標名1		救急医療情報キットの配付率							
指標説明(式)		配付件数の累計/4500(作成数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	38.1	39.2	102.9	40.2	102.6	42.6	106.0	
	実績	35.8	38	106.1	40.2	105.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	核家族化や少子高齢化により、ひとり暮らしの高齢者が急増する中、ひとりで地域の中で生活できるように、安全・安心が得られる施策が要求されている。	4
	市民ニーズ	万一の際に迅速に病状を伝えることが困難な、ひとり暮らしの高齢者からのニーズは高い。	
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例があり、高齢者の健康維持に役立っている。	3
効率性	コストの節減	キットは数年間分をまとめて作成することで、単価の軽減を図っている。	4
	手段の最適性	キット一個当たりの経費は少なく、少ない経費で大きな安心安全の効果を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りにいっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	救急搬送の際、キットを活用した事例が少ないので調査、検討する。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	高齢者にも多く知ってもらい、市民に対しても広報等で周知するとともに、ケアマネに事業の内容を理解してもらう。

(2) 27年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	救急医療情報キットの事業内容について市民に周知し、配付率の向上を図る。
見直し事項	配付対象者の要件等を見直し、対象者の拡大を検討する。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持